

平成21年度経営計画

1. 業務環境

平成21年度のわが国経済は、世界的な金融危機と景気後退が深刻化する中、外需の落ち込みのみならず国内需要も低迷し、雇用情勢も厳しさを増すなど、景気の悪化が続くことが見込まれております。

都内中小企業の分野においては、売上・受注の低迷、収益の減少、資金調達環境の悪化など、厳しい経営環境が続くものと予測されます。

2. 業務運営方針

中小企業の皆さまのベストパートナーを目指し、積極的かつ適正な保証推進に努め、資金調達の安定化に寄与するとともに経営支援事業を展開し、都内中小企業の発展に貢献いたします。

(1) 制度融資の積極的な推進

緊急保証制度等への積極的な取り組みにより、厳しい経営環境にある中小企業の皆さまに対し、経営安定資金の支援を行います。

(2) 創業支援の推進

創業支援の専門部署「創業アシストプラザ」を核に、信用保証による金融支援に加え、公開講座や創業スクールの開催など多様な経営支援により、創業される方や創業されて間もない方を積極的にサポートします。

平成21年度は、4,900企業の創業をサポートし、17,000人の雇用創出に貢献することを目指します。

(3) 再生支援の推進

再生支援の専門部署「再生支援センター」を核に、金融機関や中小企業再生支援協議会等と連携し、再生計画策定のアドバイスや再生のための信用保証、再生計画の進捗に合わせた経営支援など、中小企業の皆さまの事業再生を積極的にサポートします。

平成21年度は、200企業の再生支援を目指します。

(4) 経営支援の一層の充実

窓口における金融相談・経営相談に加え、弁護士・税理士等による専門家相談を活用するなど、相談体制の充実を図ります。また、創業保証や再生保証等をご利用いただいた中小企業の皆さまには、事後のフォローやモニタリングを実施し、継続的に経営をサポートいたします。

(5) ガバナンスの強化・コンプライアンス態勢の一層の推進

業務運営の適正の確保とコンプライアンスの一層の推進を図り、健全かつ誠実な事業活動を展開してまいります。

(6) ビジネスフェアの開催

9月2日に、出展中小企業者数150社、来場者数6,000人規模のビジネスフェア「江戸・TOKYO技とテクノの融合展2009」を開催します。中小企業の皆さまに商談の機会や企業PRの場を提供し、事業拡大に貢献します。

3. 保証承諾等の計画

平成21年度の保証承諾等の主要業務数値(計画)は、以下の通りです。

項目	金額	対前年度計画比
保証承諾	2兆2,000億円	125.7%
保証債務残高	4兆9,850億円	124.9%
代位弁済	1,800億円	150.0%
回収	270億円	90.0%